

(令和2年8月試験研究業務月報)

試験研究課題：スマート農業技術導入加速化による茶生産システムの効率化促進
令和2年度スマート農業技術の開発実証プロジェクト

情 報

茶生育等予測マッピングシステムを開発しました

近年の気候変動の影響で茶の生育等に関する過去の経験が当てはまらない年が多く、個々の茶園での気象データの活用による精密農業の必要性が高まっています。そこで、茶の生産に関する情報を茶園単位（50m 四方単位）で予測し^{※1}、パソコンだけでなく、スマートフォンやタブレットでも確認できるシステムを開発しました^{※2}。このシステムでは、①2日先までの降霜の可能性を予測する降霜予測、②「やぶきた」の煎茶及び直がけてん茶の摘採適期を1週間前から予測する摘採適期予測^{※3}、③クワシロカイガラムシの防除適期を1週間前から予測する防除適期予測ができます。今後、府内の茶生産者30戸程度を対象とした試験運用と令和3年度からの本格運用を目指します。

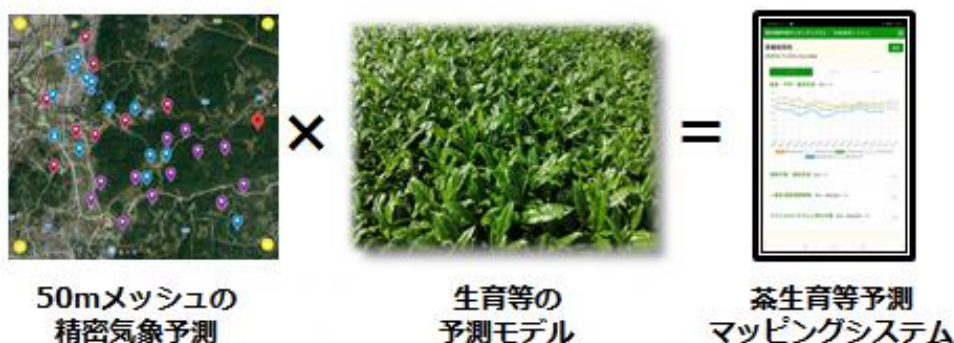
さらに、萌芽期予測や他品種への対応等の機能拡充にかかる研究も進める予定です。

※1：本システムは、農研機構西日本農業研究センターの開発した50mメッシュ気象データ解析モデルを応用し、同センターとICT企業（ビジョンテック（株））と共同で開発

※2：ICT企業（エグザム（株））との連携により、これらの予測がスマホで確認可能

※3：農業情報研究センターと連携し、AI技術を利用して、摘採適期予測モデルを開発

「茶生育等予測マッピングシステム」のしくみ



開発：京都府（農林水産技術センター農林センター茶業研究所）
農研機構（西日本農業研究センター、農業情報研究センター）

運用：宇治茶ブランド拡大協議会

構 成 員	
・公益社団法人 京都府茶業会議所	・京都府茶協同組合
・京都府茶生産協議会	・JA京都やましろ
・京都府山嵯北農園改良普及センター	・京都府山嵯南農園改良普及センター
・全国農協協同組合連合会京都府本部	・特定非営利活動法人 京都・地球みらい機構
・宇治市 産地地域振興部 農林茶業課	・京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所

農 林 セ ン タ ー （ 茶 業 研 究 所 ）